

京都大学大学院 アジア・アフリカ地域研究研究科  
フィールドワーク・インターンシッププログラム 2011年度 JASSO 派遣報告書

報告者氏名

前畑 晃也

2011 年度 (入学・編入)

<p>1.研究課題： マダガスカル南部乾燥地域における人間活動が森林性鳥類群集に与える影響の評価</p>
<p>2.派遣期間： 平成 23年 8月 20日 ～ 23年 11月 15日 ( 88 日間)</p>
<p>3.今回の派遣により、申請時に自身の目的としてあげた点について得られた知見を述べてください 目的： マダガスカル南部乾燥地域における人間活動が森林生態系、とくに森林性鳥類の群集構造に与える影響を評価し、その対策について論じる。</p> <p>得られた知見： 河辺林、有刺林、サイザルプランテーションにおいて鳥類のセンサスを行なったところ、それぞれのハビタットにおいて鳥類群集組成に違いが見られた。また、サイザルプランテーションでは他の森林と比較して記録された鳥類の種数が少なく、人間活動によるハビタットの改変が鳥類群集組成に影響を及ぼしていることが示唆された。</p>
<p>4. 自身の今後の海外への渡航や留学に向けた課題や展望について 今回の渡航では、乾季の終わりに鳥類調査を行なったため、雨季における鳥類群集の動向を把握することができなかった。今後は雨季においても乾季同様の違いが見られるかどうかを検証したい。また、語学の面で調査活動を進め辛く感じた場面があったため、今後は語学学習にも力を入れたいと思う。</p>
<p>5. 本プログラムに関して意見をお聞かせください。また、今後どのような留学プログラムがあれば参加したいですか？ 本プログラムは、資金を自由な形で研究に使えるという点で調査を進めやすかった。その反面、渡航期間に制限があり、十分な調査期間を得ることが難しいと感じた。今後、語学学習にも時間を費やすことができるような留学プログラムがあれば参加したいと思う。</p>

署名